

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:06

1/7

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23147報)

2022年 1月17日 17時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [1月17日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 1月16日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 1月16日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日12月6日、1月16日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、1月18日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 1月13日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

27

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年1月17日 11:00現在

【監視事項】
各計測器については、仕様やその限の異常検出の性能を要して、通常の監視項目を要する
を超えているものもあり、正しく検出されていない可能性のある計測器も存在している。
プラントの状況を把握するため、このような計測器の検出性能も考慮したうえで、図表
の計測器から検出される情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.0 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 16.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 16.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 23.2 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 24.0 °C (1/17 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.6 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 21.2 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 16.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.6 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 23.6 °C (1/17 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 24.0 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 21.1 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.39 kPa _g (1/17 11:00 現在)	2.70 kPa _g (1/17 11:00 現在)	0.45 kPa _g (1/17 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.49 Nm ³ /h (JP-A): 15.83 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	RPV-A: 6.45 Nm ³ /h RPV-B: 6.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	RPV-A: 8.30 Nm ³ /h RPV-B: 8.66 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	27.3 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	16.89 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	18.11 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.07 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol% (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.30E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.80E-04 Ba/cm ³ B系: 指示値 1.32E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.20E-04 Ba/cm ³ (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ (1/17 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	19.4 °C (1/17 11:00 現在)	19.0 °C (1/17 11:00 現在)	※5 °C (1/17 11:00 現在)	※5 °C (1/17 11:00 現在)
FPC 貯水タンク 水位	2.48 m (1/17 11:00 現在)	4.43 m (1/17 11:00 現在)	- m (1/17 11:00 現在)	※6 26.2 X100mm (1/17 11:00 現在)

(計測に使用する単位)
※1: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。
※2: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。
※3: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。
※4: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。
※5: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。
※6: 指示値が0.00%と表示する。0.00%未満は、計測器によりマイナス表示される場合がある。

3/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所2号機

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋北東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋南	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南西	-	-	-	-
焼却工作建屋西側	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋北	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< :小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

・採取中止理由：津波注意報発令のため。

4/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	1/16 採取中止	—	—	—
物揚場排水路	1/16 採取中止	—	—	—
K排水路	1/16 採取 (分析中)	—	—	—
BC排水路	2022/01/16 06:00	< 3.0E+00	< 6.8E-01	< 5.7E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<)：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。
- ・採取中止理由：津波注意報発令のため。

5/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/12/06 09:15	1.1E+01	< 8.4E-01	6.2E-03	< 5.2E-01	< 6.9E-01
1F 物屋通前	2021/12/06 08:32	< 1.4E+01	< 1.7E+00	1.7E-02	< 4.7E-01	< 4.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東渡除染北側)	2021/12/06 08:00	< 1.4E+01	3.6E+00	< 1.0E-01	< 4.0E-01	1.3E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (通水壁前)	2021/12/06 08:06	< 1.4E+01	4.4E+01	4.8E-01	< 4.4E-01	3.6E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/12/06 07:35	9.8E+00	< 8.4E-01	1.9E-03	< 6.9E-01	< 7.3E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/12/06 06:44	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 4.5E-03	< 5.6E-01	< 5.3E-01
1F 港湾中央	2021/12/06 06:50	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 9.7E-02	< 5.9E-01	< 6.0E-01
1F 港湾内北側	2021/12/06 06:54	< 1.3E+01	< 1.8E+00	9.3E-03	< 2.8E-01	< 3.4E-01
告示濃度限度*1			6.0E+04	3.0E+01	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水质ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01

* 核種毎の半減期：H-3(約12年), Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

* 不等号 (<:小なり)は、検出限界未満 (ND)を表す。

* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

* O.E±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

* 物屋通前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

* Sr-90以外は概にお知らせ済み。

* 1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子力発電設備の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別添第一号六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

6/7

2022年1月17日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内,放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 6号機取水口前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 物揚場前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 南放水口付近 (T-2)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾口 (T-0)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾中央	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内東側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内西側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内北側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内南側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0 とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める

告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

・採取中止理由：津波注意報発令のため。

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 γ核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンプルタンク)	G 2022/01/13 07:12	710	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 1.9E+00	8.6E+02	< 7.2E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
				< 3.2E-01	9.1E+02	< 6.0E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
	通用目標			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	
	WHO飲料水水質ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 通用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

7/7

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:20

様式0-1(1/3)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23148報)

2022年1月17日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23137報でお知らせしたとおり、3号機の原子炉注水設備タービン建屋内炉注水系については、試験に伴い、本日11時8分、タービン建屋内炉注水系による原子炉注水量を以下のとおり変更を開始し、14時44分に終了しました。</p> <p><原子炉注水量変更> タービン建屋内炉注水系原子炉注水量: $0\text{ m}^3/\text{h} \rightarrow 2.0\text{ m}^3/\text{h} \rightarrow 0\text{ m}^3/\text{h}$</p> <p>なお、試験中、関連監視パラメータに異常はありませんでした。</p> <p>【公表区分: E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

訂正 Rev1 3/7

*1 分析の進捗による訂正

17=16

1/7

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23147報)

2022年 1月17日 17時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [1月17日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 1月16日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 1月16日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日12月6日、1月16日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、1月18日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 1月13日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/7

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年1月17日 11:00現在

(留意事項)
各計測器については、地震やその他の異常振動の影響を受け、通常の計測値と異なる値を示す場合があります。この場合計測値の信頼性を確認し、必要に応じて計測器の校正や修理を行います。また、計測器の故障や電源の切断により、計測値がゼロまたは異常な値を示す場合があります。この場合計測値の信頼性を確認し、必要に応じて計測器の修理を行います。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.0 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 16.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 16.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 23.2 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 24.0 °C (1/17 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.6 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 21.2 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 16.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.6 °C SUPPLY AIR/DW COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 23.6 °C (1/17 11:00 現在)	格納容器空筒機長り空気温度 (TE-16-114A): 24.0 °C 格納容器空筒機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 21.1 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.39 kPa g (1/17 11:00 現在)	2.70 kPa g (1/17 11:00 現在)	0.46 kPa g (1/17 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.49 Nm ³ /h (JP-A): 15.83 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.45 Nm ³ /h RPV-B: 6.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.30 Nm ³ /h RPV-B: 8.66 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	27.3 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	16.89 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	18.11 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.07 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol% (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.30E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.80E-04 B系: 指示値 1.32E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.20E-04 (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ (1/17 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	19.4 °C (1/17 11:00 現在)	19.0 °C (1/17 11:00 現在)	- °C ※5 (1/17 11:00 現在)	- °C ※5 (1/17 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	2.48 m (1/17 11:00 現在)	4.43 m (1/17 11:00 現在)	- m ※6 (1/17 11:00 現在)	26.2 X100mm (1/17 11:00 現在)

(計測値に関する事項)
※1: 原子炉格納容器内水素濃度の測定は、計測器により行われ、計測値はXe135濃度を示す。
※2: 原子炉格納容器内放射能濃度の測定は、計測器により行われ、計測値はXe135濃度を示す。
※3: 原子炉格納容器内窒素封入流量の測定は、計測器により行われ、計測値は窒素封入流量を示す。
※4: 原子炉格納容器内排気流量の測定は、計測器により行われ、計測値は排気流量を示す。
※5: 原子炉格納容器内水素濃度の測定は、計測器により行われ、計測値は水素濃度を示す。
※6: 原子炉格納容器内水位の測定は、計測器により行われ、計測値は水位を示す。

3/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋北東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋南	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南西	-	-	-	-
焼却工作建屋西側	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋北	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-

- ・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。
- ・採取中止理由：津波注意報発令のため。

4/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	1/16 採取中止	—	—	—
物揚場排水路	1/16 採取中止	—	—	—
K排水路	1/16 採取中止 2022/01/16 06:00	$< 3.1E+00$	$< 4.1E-01$	$3.2E+00$
BC排水路	2022/01/15 06:00	$< 3.0E+00$	$< 6.8E-01$	$< 5.7E-01$
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O:OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

・採取中止理由：津波注意報発令のため。

5/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/12/06 09:15	1.1E+01	< 8.4E-01	6.2E-03	< 5.2E-01	< 6.9E-01
1F 物産場前	2021/12/06 08:32	< 1.4E+01	< 1.7E+00	1.7E-02	< 4.7E-01	< 4.5E-01
1F 1~4号機放水口内北側 (東浜除染北側)	2021/12/06 08:00	< 1.4E+01	3.6E+00	< 1.0E-01	< 4.0E-01	1.3E+00
1F 1~4号機放水口内南側 (海水壁前)	2021/12/06 08:06	< 1.4E+01	4.4E+01	4.8E-01	< 4.4E-01	3.6E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/12/06 07:35	9.8E+00	< 8.4E-01	1.9E-03	< 6.9E-01	< 7.3E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/12/06 06:44	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 4.5E-03	< 5.6E-01	< 5.3E-01
1F 港湾中央	2021/12/06 06:50	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 9.7E-02	< 5.9E-01	< 6.0E-01
1F 港湾内北側	2021/12/06 06:54	< 1.3E+01	< 1.8E+00	9.3E-03	< 2.8E-01	< 3.4E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+04	3.0E+01	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水暫行ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01

・核種の半減期: H-3(約12年), Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは, O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。

・物産場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

・Sr-90以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

6/7

2022年1月17日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 6号機取水口前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 物揚場前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内南側 (通水壁前)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 南放水口付近 (T-2)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾口 (T-0)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾中央	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内東側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内西側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内北側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内南側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは, 0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める

告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

・採取中止理由: 津波注意報発令のため。

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 γ核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンプルタンク) G	2022/01/13 07:12	710	東京電力	< 1.9E+00	8.6E+02	< 7.2E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北電力環境保全(株)	< 3.2E-01	9.1E+02	< 6.0E-01	< 6.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
通用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2.
告示濃度限度※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水水質ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 通用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/L以下で分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

2/7

17:40

訂正 Rev1 4/7

*1 分析の進捗による訂正

Rev2 発信日時 1/7
2022年1月17日 17時23分
様式9-1(1/2)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23147報)

2022年 1月17日 17時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [1月17日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 1月16日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 1月16日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日12月6日、1月16日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、1月18日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 1月13日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>訂正 Rev2 *2 時刻未記入による訂正</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の(有り)・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

27

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年1月17日 11:00現在

(監視項目) 各計測器については、他機やその後の昇降温度の推移を勘別して、適切な使用履歴条件を代入しているものもあり、正しく測定されていなければ適切な値のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するため、このような計測器の不確かさを考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.0 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 16.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 16.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 23.2 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 24.0 °C (1/17 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 23.6 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 21.2 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 16.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.9 °C (1/17 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.6 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 23.6 °C (1/17 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 24.0 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 21.1 °C (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.39 kPa g (1/17 11:00 現在)	2.70 kPa g (1/17 11:00 現在)	0.45 kPa g (1/17 11:00 現在)	
空素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.49 Nm ³ /h (JP-A): 15.83 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	RPV-A: 6.45 Nm ³ /h RPV-B: 6.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	RPV-A: 8.30 Nm ³ /h RPV-B: 8.66 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	27.3 m ³ /h (1/17 11:00 現在)	16.89 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	18.11 Nm ³ /h (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.07 vol% (1/17 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.08 vol% (1/17 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Net35) ※2	A系: 指示値 9.30E-04 検出限界値 3.80E-04 B系: 指示値 1.32E-03 検出限界値 3.20E-04 (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 (1/17 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 (1/17 11:00 現在)	ND Ba/cm ³ 1.9E-01 Ba/cm ³
使用済燃料プール 水温度	19.4 °C (1/17 11:00 現在)	19.0 °C (1/17 11:00 現在)	- °C (1/17 11:00 現在)	※5 - °C (1/17 11:00 現在)
FPC 水位 水位	2.48 m (1/17 11:00 現在)	4.43 m (1/17 11:00 現在)	- m (1/17 11:00 現在)	※6 26.2 X100mm (1/17 11:00 現在)

(注) 単位に換算する場合は、

※1: 指示値が0.00 vol%と表示する。(本装置が検出できない場合は、計測器により0.01 vol%と表示される場合があります。)

※2: 指示値が0.00 vol%と表示する。(本装置が検出できない場合は、計測器により0.01 vol%と表示される場合があります。)

※3: 指示値が検出限界値以下と表示する場合は、0.00 vol%と表示する。指示値が検出限界値以上と表示する場合は、指示値と表示する。

※4: 空素封入流量は、電力で換算した値を記載する。

※5: 空素封入流量は、電力で換算した値を記載する。

※6: 作業者に指示する。

3/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋北東	1/16 採取中止	-	-	-
プロセス主建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋南	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南西	-	-	-	-
焼却工作建屋西側	1/16 採取中止	-	-	-
雑固体廃棄物減容処理建屋北	1/16 採取中止	-	-	-
サイトバンカ建屋南東	1/16 採取中止	-	-	-

- ・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<・小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
- ・(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。
- ・採取中止理由：浄水注意報発令のため。

4/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	1/16 採取中止	—	—	—
物揚場排水路	1/16 採取中止	—	—	—
K排水路	1/16 2022/01/16 06:00	*1 ≡ < 3.1 E+00	*1 ≡ < 4.1 E-01	*1 ≡ 3.2 E+00
BC排水路	2022/01/16 06:00	< 3.0E+00	< 6.8E-01	< 5.7E-01
5,6号機排水路*1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ・採取当日の降雨量は0 mm
 ・排水路流量情報は、解析のため後日公表する。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。
 ・採取中止理由：津波注意報発令のため。

5/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/12/06 09:15	1.1E+01	< 8.4E-01	6.2E-03	< 5.2E-01	< 6.9E-01
1F 物集場前	2021/12/06 08:32	< 1.4E+01	< 1.7E+00	1.7E-02	< 4.7E-01	< 4.5E-01
1F 1~4号機放水口内北側 (東浜除塩北側)	2021/12/06 08:00	< 1.4E+01	3.6E+00	< 1.0E-01	< 4.0E-01	1.3E+00
1F 1~4号機放水口内南側 (海水型前)	2021/12/06 08:06	< 1.4E+01	4.4E+01	4.8E-01	< 4.4E-01	3.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/12/06 07:35	9.8E+00	< 8.4E-01	1.9E-03	< 6.9E-01	< 7.3E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/12/06 06:44	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 4.5E-03	< 5.6E-01	< 5.3E-01
1F 港湾中央	2021/12/06 06:50	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 9.7E-02	< 5.9E-01	< 6.0E-01
1F 港湾内北側	2021/12/06 06:54	< 1.3E+01	< 1.8E+00	9.3E-03	< 2.8E-01	< 3.4E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+04	3.0E+01	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Sr-90(約29年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物集場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

・Sr-90以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子力発電所貯蔵施設の保安及び特定核種物質の防護に関する規制に定める告示濃度限度

(例題第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[水表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

6/7

2022年1月17日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 6号機取水口前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 物揚場前	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 南放水口付近 (T-2)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾口 (T-0)	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾中央	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内東側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内西側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内北側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 港湾内南側	1/16 採取中止	—	—	—
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10⁺⁰であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める

告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

・採取中止理由：津波注意報発令のため。

7/7

2022年1月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 √核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンプルタンク) G	2022/01/13 07:12	710	東京電力 東北緑化探検保全(株)	< 1.9E+00	8.6E+02	< 7.2E-01	< 6.9E-01		検出なし
				< 3.2E-01	9.1E+02	< 6.0E-01	< 6.9E-01		検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水水质ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種毎の半減期: H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])